



フロントはロアアーム延長でのキャンバーセッティングだとステアフィールがダルになるため、アッパー&ボルトで5度半ヘセッティング。4リンクリジッドのリアに関してはキャンバープレートなど使うとアンバランスになるため、トー調整も加えていない。

削り出し仕様で足もとをレーシーに飾るフットレストバーは、小ぶりながらコーナリング時などしっかり踏ん張れる秀逸さ。ストリートからサーキットまで使って納得の逸品となっている。



■1万6500円



チューニングの効果がわかりやすい
ちゃんと体感できるのが楽しい

ジャンプオフオートモービル
花本宏輝代表
デモカーの作り込みをオリジナルパーツやセットアップでフィードバック。車両手配まで含めたコンプリート仕様もオーダー可能だ。

フロントタイヤに面圧がかけやすく、リアの接地性が失われないように前後ストロークバランスへこだわり抜くオリジナル車高調。基本はフロント10kg/mm、リア12kg/mmとなるが、走行ステージや好みに応じてアレンジも可能。

オリジナル車高調
■32万7800円



ミニサーキットならパッド交換で対応できるが、中高速コースや耐久だとフロントブレーキが辛くなる。制動力だけでなく軽量性にもこだわった、ジャンプオフオリジナルのウィルウッド製鍛造キャリパー&ローター。純正比1kg減の鍛造4ボルト×280φ2ピース仕様だ。

ウィルウッド鍛造4POTキャリパーキット
■22万8800円



ワンメイクレースとして開催されるJPSOCを戦いつつ、スポーツ走行が楽しめる最速営業車。としての最適解をデモカーのプロボックスで探ってきたジャンプオフモビル。

スポーツ走行を楽しむ上で最大の武器となる旋回性の高さをオリジナル車高調やアライメントで研ぎ澄ましつつ、チューンドマシンとしての魅力も備えるため、限られたエンジンポテンシャルを最大限に引き出していくタコ足やフルコンキットを開発。デモカーで培ってきたノウハウをオリジナルパーツやユーザーのセッティングで惜しみなくフィードバックし、プロサクチューンを盛り上げているのだ。

こだわりの作り込みやオリジナルパーツはそれぞれクロージングアップしていくが、もともと注目してもらいたいのにはスプリットオーダーして仕上げたオリジナル車高調。トラクションを稼ぐフロントタイヤの面圧、良くも悪くもブアなリア足の接地性確保など、走り込みを重ねる中で理想に導いたストローク重視の味付けは、スポーツ走行にウエイトを置いたハイレート仕様でもストリートの乗り心地良さが確保されたものとなっている。

プロサクが持つ魅力を存分に味わいたいのなら、ジャンプオフオートモービルのオリジナルパーツとセッティングのノウハウ注入は欠かせないぞ！



車高やキャンバーセッティングにも左右されるが、フロント無加工、リアツメ折りで8J×15+28を前後通して履きこなせる。スポーツ走行を楽しむため、デモカーは195/50R15のアドバンA052がマッチングされていた。

エアロは軽さも追求した特別仕様！



デモカーがまとっているのはウーカージャンプのエアロキットだが、市販モデルよりも20〜30%軽くなる特別仕様だ。専売品として販売されているので機能美あふれるスタイルを狙うならジャンプオフオートモービルへオーダーすべし。

ジャンプオフオートモービル

Jump off Automobile

問:ジャンプオフオートモービル ☎0561-65-3573 <https://www.jumpoff.co.jp>

伝道師が導き出した
最適解

プロサクをチューンドマシンへ



Specifications

- ベースカープロボックス(1.5L/MT)
- ホイールエンケイAP F1RS(15×8.0J+28)
- タイヤヨコハマアドバンA052(195/50R15)
- エアロパーツF/S/R=ウーカージャンプ(ジャンプオフ専売軽量モデル)

■チューニングECU&エキマニ&イグニッションコイル&車高調&ブレーキ=ジャンプオフオリジナル エアクリナー=HKS マフラー=メーカー不詳 ストレートパイプ=ディークライム 特注アルミ2層ラジエター=KOYO オイルクーラー=10段=HPI フロアサポートバー=スーパーブレイベート アッパーサポート=アクテブ リアサスペンションアームシート=藤村オート ブレーキ=ウィルウッド ブレーキパッド=エンドレス リアブレーキシュー=プロジェクトム ウィッツ用カバーミックス=クスコ フライホイール=オリジナル LSD=クスコ

- インテリアシート=レカロ ステアリング=ナルディ 追加メーター=ディフィ
- その他フットレスト=ジャンプオフオリジナル